

施設名	今治市さざなみ園
所在地	今治市大三島町宮浦336
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人で・ふ・か</p> <p>代表者 理事長 真鍋誠子</p> <p>住 所 今治市常盤町5丁目2-39</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>健康福祉部 健康福祉政策局 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougaihukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>さざなみ園の基本方針に基づき利用者のサービスについて毎月職員間でミーティングを通して個別支援、毎日の活動記録による小さな変化の積み上げ地域とのつながりを重視し学校や地域団体との交流を積極的に行い他機関との情報共有ができた。</p>	A	<p>施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、おおむね適切な運営が行われています。島しょ部で唯一の公的な作業所です。保健師等関係機関と連携し、支援につながるよう情報共有に努めてください。</p>
利用状況	B	<p>今年度は問い合わせ、見学から2名利用につながった。また利用状況等について、関係機関と連絡を取り新規利用者の増に努めた。</p>	B	<p>コロナ禍も明け、延べ利用人数、実利用人数及びサロン利用者・イベント参加者ともに増加しています。ただし、電話問い合わせや見学者数・体験者数が低調ですが、通所につながっています。関係機関との交流や情報共有を密にし、また効果的な広報活動により利用者増への取り組みを継続してください。</p>
事業収支	B	<p>イベント等の参加者が少なく収入の減少しました。農作物の販売においても、高温少雨で作物の出来が悪く販売できなかった。支出につきましては、昨年とほぼ同額となりました。</p>	B	<p>収入支出とも適切に管理できています。施設も老朽化しているため、修繕等の必要箇所も増加していると思われる。利用者に施設で快適に過ごしていただくため、要望を聞き取り、利用者目線の施設運営を心がけてください。</p>
管理運営体制	B	<p>施設内研修において障がい者の視点にあわせた支援方法を学び、福祉サービスを提供する上で必要な知識の向上に努めました。またロールプレイングを取り入れた研修、また職員提案の事例検討を全職員が意見交換して今後の支援に繋げていく。職員間で情報を共有し、細かな支援が出来るよう努めている。</p>	B	<p>有資格者や職員配置は仕様書どおりできていますが、職員の休暇や研修の際も利用者に対して十分な支援ができる職員体制づくりに取り組んでください。法人外からの知識・技術取得のため、派遣研修への参加もご検討ください。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	管理業務において仕様書に定められた基準に従い行うことが出来ました。日々の訓練等において、作業能力の向上。社会適応能力を伸ばさせる取り組みを行いました。また、防災についてはマニュアルを作成し、利用者の安全を守ることを念頭に避難訓練等を定期的実施しています。	B	仕様書に定められた基準に従い管理できています。季節行事を通じて、日常生活や余暇時間を充実させるための取り組みができています。また、作業終了後、利用者職員と一緒に清掃作業に取り組むなど、施設全体で地域や施設美化に取り組んでいます。
利用業務	B	サロン活動は利用者と地域の方々との参加をいただき、地域の方が一緒に参加する形が少しずつ定着しつつあります。また、日々の創作活動の中で製革した作品を地域に向けて発信する絵画展では障がいへの理解や共感の輪を広げる機会となっています。	B	コロナ禍も落ち着いてきて利用人数、参加者数とも増加しています。次年度以降も周知強化をして利用者増加に取り組んでください。
その他業務	A	台風等災害の危険性がある場合等において、早期に判断してマニュアルのとおり事故防止に努めました。	B	各種マニュアルは整備されており、避難訓練も年2回実施できています。今後も事故等に注意して運営してください。
修繕業務	B	施設の修繕について、常に市担当者との協議すると共に園の予算で出来るものは早期に修繕を行っている。利用者の送迎車においても、3カ月毎の定期検査を実施しておりオイル、タイヤ交換等定期的におこなって事故防止に努めている。	B	利用者送迎のための公用車に係る修繕、整備が適切にできています。送迎業務に万全を期すため、日頃の車両点検も確実に行ってください。また、施設の老朽化により修繕必要箇所が増加していると思われませんが、施設利用に影響しないよう計画的な修繕をお願いします。
備品管理業務	A	利用者の利便性を図るため、備品の購入を検討しています。	B	備品の老朽化の把握に努め、利用者ニーズも汲み取りながら、備品の購入・管理に取り組んでください。
行政財産の目的外使用許可手続業務				
自主事業	A	アート作品展や地域との交流により地域住民との接点が増え、理解や親しみを感じてもらった機会となりました。	B	障がい者アート作品展の実施等により、児童や地域との交流につながる活動ができています。今後も、趣向を凝らした事業開催により、施設の魅力を引き出してください。
地域団体との連携	A	当園のサロン活動等各種イベントは、日常的なつながりの構築、世代間交流、福祉団体からの講師派遣など、利用者や地域の人々との関わる場所を作りました。また、行政だけでなく各関係機関、地域の団体の皆さんが積極的に参加してくれました。	A	利用者の支援につなげるため、相談事業所や地域活動支援センター等関係機関との連携が取れています。イベント開催時に地元住民との交流も生まれています。利用者増や現利用者の支援に繋げていくため、密なる交流の場を継続して行ってください。
利用者アンケート	A	利用者へのアンケートは年1回実施しています。毎年アンケートの内容も変えながら、利用者が園に対するニーズを把握する機会となっております。イベントにおいては必ず参加していただいた方へのアンケートを実施して、要望等の分析を行っています。今後はアンケートの内容を検討し、回答しやすい方法、具体的なフィードバックを行いより一層分析しやすいものに検討します。	B	職員対応や施設整備について、満足度の高い回答となっています。特に工賃・作業内容については、利用者の通所意欲に直結するため、丁寧な聞き取りをお願いします。また、相談者として複数の方が施設職員を挙げています。利用者や職員の信頼関係の現れだと思えますので、引き続き利用者が満足できる施設運営をお願いします。
事故・苦情	A	利用者の安全を第一に考え、職員の意識向上に努めました。台風等災害が予想された場合は、早めの行動を取るよう努めています。	A	事故・苦情はありませんでした。気象情報を早期把握し、安全安心に送迎するよう対応できています。3島送迎により日々長距離走行となるため、毎日の車両点検の確実な履行をお願いします。

課題	指定管理者自己評価	市による評価
指定管理者の 経営状態		貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。

総合コメント（市）
当該施設は、島しょ部で唯一、精神障がい者の通所が可能な作業所であり、地域における重要な拠点としての役割を担っています。大島、伯方島、大三島の利用者が通所しやすい環境を作るため、送迎を実施し利用者の通所手段を確保しています。陸地部に比べ施設運営について大変な立地条件ではありますが、関係機関と協力し連携を図っています。障がい者施設の枠組みを超えて地域活性化へ繋がる活動を行うなど、他とは違う施設としての存在感を示しています。引き続き、島しょ部における作業所として、また地域交流の場としての活動を期待します。